



Southeast U.S./JAPAN Association とは？

米国南東部会 (Southeast U.S./Japan Association) は、1976年に設立された。日本側にこれに対応して、日本のトップ企業のリーダーや、政府高官を会員とした日本・米国南東部会 (Japan/U.S. Southeast Association) がある。Southeast U.S./Japan Association の会員資格は、アラバマ州、フロリダ州、ジョージア州、ノースカロライナ州、サウスカロライナ州、テネシー州、バージニア州、ミシシッピ州に居住する民間企業、公共機関のメンバーに広く開かれている。

目的

日本とフロリダの貿易拡大、投資促進、そして友好関係の促進を、合同会議、その他のプログラムや活動を通して行うのが目的である。

合同会議

日本と米国にある両組織の合同会議が毎年一度日本と米国にて交互に開催されている。米国で会議が行われるたびに、米国南東部会の8つの州が交代で「ホスト、準ホスト州」となり、Association のリーダーを務める。フロリダは、2006年の合同会議をホストした。昨年度はノースカロライナ州のローリーで、今年度の合同会議は東京で開催された。来年度の第34回合同会議はテネシー州のナッシュビルで2010年10月16日から19日の期間、開催される。

Florida Delegation SEUS/JAPAN とは？

Florida Delegation, Southeast U.S. Japan Association, Inc. は、フロリダとして上記目的を達成する為の常設の機関として1980年に組織化され、フロリダ州全体を代表する非営利団体である。

Florida Delegation の活動とは？

Florida Delegation は Southeast U.S. Japan Association の8つの州各々にある同様の機関と協調して活動し、又フロリダと日本のビジネスと友好関係を促進するために、州知事オフィス、エンタープライズ・フロリダ、フロリダ州務省、地方経済推進団体などと緊密に協議し州全体のプログラムを企画する。Association はまた、合同会議におけるフロリダの公式代表団を編成する。

Association の歴史

1976年にミルトン N. フィッシャー氏が、Southeast U.S./Japan Association のフロリダ諮問委員会会長となった。1980年にバートン A. ランディー氏が同会長となり、同委員会を Florida Delegation, Southeast U.S./Japan Association に改組した。その後、フィリップ F. アシャー氏が会長として選出され、ハイ W. キルマン氏、エドワード F. ズウィック氏、ジョン C. ビエルレイ氏、マーク T. オアー博士、ウィリアム J. フリン III 氏、ランディー L. フィリップス氏、クレア・カレン女史と続き、現在シビル・プリチャード女史が会長職を努めている。